

★★令和2年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金実施状況

(単位:千円)

No.	交付対象事業の名称	所管	事業の概要	事業 始期	事業 終期	総事業費		実施状況	効果
						1,731,901	うち 交付金額 1,141,922		
1	雲仙市緊急消費喚起対策事業	商工労働課	感染症の影響を受けている市内飲食業等を支援するため、市民に対し商品券を配布し、消費喚起を促す。 ・1人世帯 :2,000円 ・2人世帯 :3,000円 ・3人世帯超:4,000円	R2.4	R3.3	182,045	182,038	・商品券換金枚数:95,762枚 (執行率 90.9%) ・取扱店舗数:362店舗	市内全世帯に対し、共通商品券及び飲食店用商品券を配布したことにより、飲食店を中心とした市内店舗での消費喚起を促し、市内産業の活性化に寄与した。
2	雲仙市緊急雇用維持対策事業	商工労働課	国の雇用調整助成金等を利用している市内中小・小規模事業者に対し、市独自に上乗せして支援する。 ・休業手当総額から国の助成額を除いた額の1/2以内	R2.4	R3.3	721	720	・助成を利用した事業者数 6社	助成金交付により、雇用維持にかかる負担を軽減し、市内中小企業における失業の予防と雇用の安定を図った。
3	雲仙市緊急宿泊促進支援事業	観光物産課	感染症の影響を受けている市内宿泊施設を支援するため、市民が宿泊施設を利用する際に支援を行い、消費喚起につなげる。 ・宿泊料の一部を助成	R2.4	R3.7	66,305	63,440	・のべ宿泊者数:8,641人(R2) :1,637人(R3)	宿泊施設への支援を行うことで、宿泊や滞在を伴う市内の消費を促した。
4	雲仙市事業継続支援金(農業)	農林課	農業者の事業継続を支援するため、売上減少率に応じて、支援金を給付する。 また、国の緊急事態宣言や県の時間短縮営業の要請等による影響を受けていることから、事業継続(雇用確保)を支援するため、従業員数に応じた農業者に対する追加支援を行う。 ①経営支援 R2.3~R3.2月平均売上額が、前年同期の平均売上額と比較して20%以上減少 ②雇用確保 R2.12~R3.3月平均売上額が、前年同期の平均売上額と比較して20%以上減少の場合【追加支援】	R2.5	R3.5	41,350	35,683	①経営支援:127件(R2) :32件(R3) ※本交付金の対象件数のみ記載 ②雇用確保:10件(R2) :41件(R3)	売上が減少し影響を受けた農業者に支援を行うことにより事業継続及び経営安定が図られた。
5	高収益作物持続化支援事業	農林課	感染症の影響により、農作物の価格下落が起きている(次期作に前向きに取り組み)農業者に対し、必要な資材購入費用の一部を支援する。 ・10aあたり25千円	R2.5	R3.3	27,598	27,597	・助成対象作付面積:11,086a	農作物の価格下落による影響を受けた農業者に支援を行うことにより事業継続及び経営安定が図られた。
6	花卉消費拡大対策事業	農林課	感染症の影響により、花卉の価格下落が起きているため、JA・島原半島三市が連携し、花卉消費による生産者支援を行う。	R2.5	R3.2	1,660	1,660	・花卉消費量:49,730本	花きの価格下落による影響を受けた花き生産者に支援を行うことにより事業継続及び経営安定が図られた。
7	雲仙市事業継続支援金(畜産)	農林課	畜産業者の事業継続を支援するため、売上減少率に応じて、支援金を給付する。 また、国の緊急事態宣言や県の時間短縮営業の要請等による影響を受けていることから、事業継続(雇用確保)を支援するため、従業員数に応じた畜産業者に対する追加支援を行う。 ①経営支援 R2.3~R3.2月平均売上額が、前年同期の平均売上額と比較して20%以上減少 ②雇用確保 R2.12~R3.3月平均売上額が、前年同期の平均売上額と比較して20%以上減少の場合【追加支援】	R2.5	R3.5	8,050	8,050	①経営支援:38件(R2) :1件(R3) ※本交付金の対象件数のみ記載 ②雇用確保:1件(R3)	売上が減少し影響を受けた畜産業者に支援を行うことにより事業継続及び経営安定が図られた。
8	肉用牛経営体強化緊急支援事業	農林課	感染症の影響により、肉用牛枝肉価格の下落が起きていることから、(意欲のある)肥育経営農家団体に対し、支援する。 ・出荷1頭あたり5.5千円(和牛のみ4.5千円加算)	R2.5	R3.3	27,104	27,104	・助成対象出荷頭数:4,928頭	牛枝肉の価格下落による影響を受けた肉用牛肥育経営業者に支援を行うことにより事業継続及び経営安定が図られた。
9	雲仙市事業継続支援金(水産)	農漁村整備課	水産業者の事業継続を支援するため、売上減少率に応じて、支援金を給付する。 また、国の緊急事態宣言や県の時間短縮営業の要請等による影響を受けていることから、事業継続(雇用確保)を支援するため、従業員数に応じた水産業者に対する追加支援を行う。 ①経営支援 R2.3~R3.2月平均売上額が、前年同期の平均売上額と比較して20%以上減少 ②雇用確保 R2.12~R3.3月平均売上額が、前年同期の平均売上額と比較して20%以上減少の場合【追加支援】	R2.5	R3.6	13,850	12,350	①経営支援:37件(R2) 2件(R3) ※本交付金の対象件数のみ記載 ②雇用確保:26件(R3)	新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、旅館など飲食店での宴会の中止や、観光客の減少等により、市内水産事業者の経営も危機的な状態に陥っていたことから、給付金の支給をおこなうことで、事業継続に寄与した。
10	雲仙市事業継続支援金(商工)	商工労働課	感染症の影響を受けている市内商工業者の事業継続を支援するため、売上減少率に応じて、支援金を給付する。 経営支援 R2.3~5月の任意の1カ月の売上額が、前年同月と比較して20%以上減少	R2.5	R3.9	250,198	250,196	・経営支援:862件(R2) :83件(R3) ※本交付金の対象件数のみ記載	新型コロナウイルス感染症により経営に影響を受けた事業者に対し支援金を支給したことで、事業継続を支援した。
11	持続化給付金申請支援補助金								
12	新型コロナウイルス感染症対策事業(危機管理課)	危機管理課	感染予防・まん延防止対策として、避難所運営に必要な感染予防に資する資材を購入する。	R2.5	R3.3	10,886	10,886	・マスク:136,000枚 ・手指消毒液:186本 ・体温計:93本 ・簡易ベッド:160台 ・段ボールパターション:125台 ・段ボールパターション:875枚 ・簡易間仕切り:100基 ・フェイスシールド:250個 ・エアーマット:300枚 ・パターション:20台	豪雨、台風接近により避難所を開設する際に危険な感染拡大の対策として、感染対策資材を備蓄し、活用することで、安全を確保が図られた。
13	新型コロナウイルス感染症対策事業(健康づくり課)	健康づくり課	感染予防・まん延防止対策として、備蓄用マスクを購入する。	R2.4	R2.6	2,203	2,203	・マスク:31,200枚(うち備蓄用30,000枚)	市場にマスクが不足する中、新型コロナウイルス感染症発生状況下においても、市民に必要な行政事務(窓口業務や訪問業務)を継続的に進めるよう、職員へ配布を行うことにより、市民サービスの維持に努めることができた。 備蓄用マスクの購入により、既存備蓄マスクの有効活用が可能となり、市内におけるまん延防止に効果が発揮できた。
14	新型コロナウイルス感染症対策事業(総務課)	総務課	感染予防・まん延防止対策として、小中学校などに備え付けのマスクを購入する。	R2.4	R2.5	1,137	1,137	・マスク:19,800枚	市内全小・中学校にマスクを配備し、児童生徒の感染拡大防止につながった。
15	新型コロナウイルス感染症対策事業(市民安全課)	市民安全課	感染予防・まん延防止対策として、消防団員用のマスクや消毒液などを購入する。	R2.7	R3.3	889	889	【主なもの】 ・マスク:21,000枚 ・消毒液:140本 ・非接触体温計:70個 ・アルコール除菌剤140本	感染対策の実施により、消防団活動の継続につながった。
16	小学校教育環境整備事業	総務課	市内小学校において、国が進めるGIGAスクール構想に係る1人1台PC端末の実現を図る。	R2.7	R2.11	33,569	33,568	【市単独事業のみ記載】 ・PC端末:882台	新型コロナウイルス感染症等発生による臨時休校下等においても、児童の学びを保障するためのICT活用によるタブレット端末の整備を図った。
17	中学校教育環境整備事業	総務課	市内中学校において、国が進めるGIGAスクール構想に係る1人2台PC端末の実現を図る。	R2.7	R2.11	15,862	15,862	【市単独事業のみ記載】 ・PC端末:394台	新型コロナウイルス感染症等発生による臨時休校下等においても、生徒の学びを保障するためのICT活用によるタブレット端末の整備を図った。

No.	交付対象事業の名称	所管	事業の概要	事業 始期	事業 終期	総事業費		実施状況	効果
						総事業費	うち 交付金額		
18	雲仙市緊急消費喚起対策事業【追加】	商工労働課	飲食業等を中心に依然として消費が伸び悩み、市経済の十分な回復に至っていない状況を鑑み、市民を対象とする商品券を追加配布する。 ・商品券利用補助金：共通商品券 1,000円券/人 ・飲食店用商品券 2,000円券/人	R2.7	R3.3			・商品券換金枚数：237,331枚 （執行率 92.3%） ・取扱店舗数：362店舗 ※総事業費、うち交付金額は、No.1に集約	市内全世帯に対し、共通商品券及び飲食店用商品券を追加配布したことにより、飲食業を中心とした市内店舗での更なる消費喚起を促し、市内産業の活性化に寄与した。
19	雲仙市地域産業再起支援事業	商工労働課	感染症の影響を受けた市内中小企業等に対し、事業を継続するための取組、早期回復に向けた取組、新しい生活様式に対応する取組を支援する。 ・事業継続のための定期的な固定費の4/5以内（上限20万円×2回）	R2.7	R3.3	117,327	117,000	・助成を利用した事業者数：772社	感染防止対策の導入費や事業所の家賃・地代等の負担軽減を目的とした補助金を交付し、市内事業所の事業の継続若しくは事業再開に向けた接続を支援した。
20	雲仙市宿泊需要回復支援事業	観光物産課	観光産業の需要回復が依然として見通せず、厳しい経営状況をいられている状況を鑑み、市民などを対象に需要を喚起し回復させる。 ・宿泊料の一部助成（5,000円/人・泊）	R2.7	R2.12	46,969	46,967	・のべ宿泊者数：9,316人	宿泊施設への支援を行うことで、宿泊や滞在を伴う市内などの消費を促した。
21	庁舎感染症対策事業	財産管理課	感染予防・まん延防止対策として、市役所内の感染症対策に必要なものを購入する。	R2.9	R3.3	7,458	7,457	【主なもの】 ・パーテーション：268枚 ・パネルスクリーン：7台 ・サーマルカメラ：14台	水際対策として体温計、パーテーションを設置することにより、来庁者へ安心感を与えとともに、新型コロナウイルス感染拡大防止に寄与した。
22	情報ネットワーク費	行革推進課	コロナ禍における市役所業務の事務分散やテレワークを実施するため、環境を整備する	R2.9	R3.3	49,457	49,456	・ネットワーク構築業務 機器購入・設置：一式 LAN配線工事：総2,007メートル アクセスポイント設置：79箇所 モバイルパソコン：50台 大型モニター：3台	庁内無線LAN環境整備により、事務所内分散勤務の際に円滑に対応できた。またリモートアクセス環境整備により、自宅待機となった職員のリモートワークの実現に繋がった。
23	超高速ブロードバンド基盤整備事業	行革推進課	情報通信の格差を是正するため、市内全域に光ファイバー網を構築し、新たな日常や遠隔教育などに早期対応できるよう通信インフラの環境整備を行う。	R2.9	R4.3	345,278	-	・光ファイバー網構築：市内全域	市内全域に光ファイバー網を構築し、サービスを申し込むことで超高速ブロードバンド通信に接続できる環境が整い、情報通信格差の是正に繋がった。
24	雲仙市長選挙一般事務費	選挙管理委員会	感染予防・まん延防止対策のため、選挙投票所などにおける感染症対策に必要なものを購入する。	R2.9	R2.11	949	948	【主なもの】 ・マスク：2,200枚、消毒液：140個 ・フェイスマスク：400個 ・ゴム手袋：3,100枚 ・使い捨て鉛筆：27,000本	事業実施につき、マスク着用、手指消毒を呼びかけることができ、感染拡大防止につながった。
25	新生児への臨時特別給付金給付事業	子ども支援課	コロナ禍において、出産・育児に不安を抱えながら子どもを養育する保護者に必要となる経済的支援を行う。 ・R2.4.28以降に生まれた同年齢となる子どもの保護者（10万円/人）	R2.9	R3.4	20,708	10,358	・助成対象者数：201人（R2） ・6人（R3）	国が実施した特別定額給付金の対象とならなかった子育てする保護者へ臨時特別給付金を交付し、コロナ禍の出産に不安を抱える家庭の経済的支援に繋がった。
26	新型コロナウイルス感染症対策事業（健康づくり課）【追加】	健康づくり課	感染症の影響により、肉用牛牛肉価格の下落が起きていることから、（意欲のある）肥育経営農業団体に対し、支援する。 ・出荷牛1頭あたり 4.5千円	R2.9	R3.3	432	431	・消毒液：350本 ・消毒液設置台：8台	市役所庁舎（本庁・支所）の正面玄関や裏口に手指消毒液を設置することにより、多くの市民が利用する庁舎内における感染予防対策に効果が発揮できた。
27	肉用牛経営体質強化緊急支援事業【追加】	農林課	感染症の影響により、肉用牛の子牛価格が下落が起きていることから、（畜舎の環境改善や疾病防止等の経営改善に取り組む）繁殖農家に対し、支援する。 ・1頭当たり10千円 （市場の平均価格が一定額を下回った場合）	R2.9	R3.3	13,923	13,923	・助成対象出荷頭数：3,094頭	牛肉の価格下落による影響を受けた肉用牛肥育経営体質に支援を行うことにより事業継続及び経営安定が図られた。
28	優良肉用子牛生産推進緊急対策事業（雲仙市）	農林課	感染症の影響により、肉用牛の子牛価格が下落が起きていることから、（畜舎の環境改善や疾病防止等の経営改善に取り組む）繁殖農家に対し、支援する。 ・1頭当たり10千円 （市場の平均価格が一定額を下回った場合）	R2.9	R3.3	3,620	3,620	・助成対象頭数：362頭	子牛の価格下落による影響を受けた肉用牛繁殖経営体質に支援を行うことにより事業継続及び経営安定が図られた。
29	雲仙市飲食店ガイドライン作成事業	商工労働課	コロナ禍における飲食店の安全安心のため、独自のガイドライン及び行動マニュアルを策定する。	R2.9	R3.3	3,104	3,103	・飲食店等ガイドライン作成業務 一式 ガイドライン・行動マニュアル作成 飲食店に対する実施審査 PR資料作成配布 等 ・市内飲食店認証施設数：50店舗	長崎大学監修による飲食店の第三者認証制度について、市内飲食店を対象に実施し、飲食店における独自のガイドライン及び行動マニュアルを策定し、面的な取組みを可視化することで消費者の安心感の醸成に繋がった。
30	雲仙市PR事業	観光物産課	コロナ禍における観光業（観光施設、案内所など）の安全安心のため、独自のガイドライン及び行動マニュアルを策定する。	R2.9	R3.3	5,309	5,309	・感染症対策観光プロモーション業務 一式 ガイドライン・行動マニュアル作成 観光業に対する実施審査 プロモーション 等	観光施設や宿泊施設に対し、新型コロナウイルス感染症の安全対策を行うことで、利用する観光客への感染拡大防止に寄与した。
31	修学旅行特別対策事業（小学校）	学校教育課	市内小学校において、コロナ禍における修学旅行キャンセル料の保護者負担を軽減する。	R2.9	R3.1	55	55	・助成対象者数：25人	目的地の変更により、当初予定していた宿泊先のキャンセル料が発生したが、支援したことで、コロナ禍における保護者の経済的負担を軽減することができた。
32	修学旅行特別対策事業（中学校）	学校教育課	市内中学校において、コロナ禍における修学旅行キャンセル料の保護者負担を軽減する。	R2.9	R3.1	53	52	・助成対象者数：39人	〃
33	ワーケーション等受入態勢整備事業	観光物産課	コロナ禍におけるワーケーションの受入態勢を構築する。	R2.12	R4.3	18,514	6,017	・ワーケーション等受入態勢推進業務：一式 ・先進地研修：県外2市 ・交流コミュニティづくり支援：一式 ・受入態勢の整備・機能強化支援：7社	ワーケーションの新しい働き方の周知を図るとともに、ワーケーションの受入態勢整備の拡大に寄与できた。
34	感染拡大防止営業時間短縮協力金支給事業	商工労働課	県の営業時間短縮に応じ、一定期間短縮営業をに協力した飲食店に協力金を支給し、食食等による感染拡大の防止を図る。	R3.1	R3.3	146,680	14,668	・協力事業者数：193事業者	市内店舗が営業時間短縮に協力いただいたことで、感染拡大防止が図られ、また、協力いただいた店舗へ協力金を交付することにより、店舗の事業継続を支援した。
35	新型コロナウイルス感染症対策緊急経営安定化事業	商工労働課	感染症により影響を受けた事業所に対し、関連資金（国・県の制度資金）に係る利子、保証料の補給を継続的に行うため、基金を造成する。	R3.3	R3.3	102,731	102,731	・基金への積立（R3～R6補給分）	新型コロナウイルス感染症の影響を受け、売上高が減少し、経営の悪化が懸念される市内事業者に対し、国・県の制度資金の利子・保証料の一部を助成し、負担を軽減することにより資金を調達しやすい環境整備につながった。
36	新型コロナウイルス感染症対策事業（危機管理課）【追加】	危機管理課	過去最大級の台風接近により避難者数も過去最大となり、感染症対策の資材が不足したことなどにより、資材を追加購入する。	R3.3	R3.10	29,596	19,244	・エアーマット：1,000枚 ・簡易ベッド：700台 ・パーテーション：800台	エアーマット、簡易ベッド、パーテーションを追加で整備したことにより、令和3年8月豪雨による長期間にわたる避難所開設においても万全な感染防止対策が図られた。
37	雲仙市事業継続支援金（商工）【追加】	商工労働課	国の緊急事態宣言や県の時間短縮営業の要請等による影響を受けていることから、事業継続（雇用確保）を支援するため、従業員数に応じた中小・小規模事業者に対する追加支援を行う。	R3.1	R3.9	125,650	62,130	・雇用確保：124件（R2） ・549件（R3）	新型コロナウイルス感染症により経営に影響を受けた事業者に対し、雇用者数に応じた支援金を追加支給したことで、雇用の維持による事業の継続を支援した。
38	学校保健特別対策事業費補助金（公立学校感染症対策事業（小学校））	総務課	市内小学校において、学校教育活動等の実施における児童の感染症対策のため、感染予防に資する消耗品などを購入する。	R2.7	R3.3	5,926	2,962	【主なもの】 ・手指殺菌・消毒剤：2,685本 ・食品添加物アルコール製剤：2,900本 ・学校医（健診用）消耗品 一式	市内小学校に消毒液等を整備することにより、学校生活における感染拡大防止につながった。
39	学校保健特別対策事業費補助金（公立学校感染症対策事業（中学校））	総務課	市内中学校において、学校教育活動等の実施における児童の感染症対策のため、感染予防に資する消耗品などを購入する。	R2.7	R3.3	2,585	1,292	【主なもの】 ・手指殺菌・消毒剤：1,245本 ・食品添加物アルコール製剤：1,350本 ・学校医（健診用）消耗品 一式	市内中学校に消毒液等を整備することにより、学校生活における感染拡大防止につながった。
40	子ども・子育て放課後児童健全育成事業	子ども支援課	●国の緊急事態宣言を受け、小学校の臨時休業により放課後児童クラブを平日午前中から開所するための①経費の支援 ②人材確保等に要する経費の支援 ③市の要請により児童が放課後児童クラブの利用を控えた場合等の利用料を保護者に返還した場合等の経費の支援	R2.7	R3.3	1,632	543	①特別開所支援：3クラブ（延べ21日分） ②特別開所人材確保支援：12クラブ（延べ81日分） ③利用料減免：12クラブ（延べ348人・112日分）	学校の臨時休業に伴い午前中から開所した放課後児童クラブに対して支出が増加した人件費を含む経費や市の要請により利用を控えた子どもたちの利用料を補助することで、放課後児童クラブへの財政支援を行うことができた。

No.	交付対象事業の名称	所管	事業の概要	事業始期	事業終期	総事業費		実施状況	効果
						総事業費	うち交付金額		
41	公立学校情報機器整備費補助金【小学校教育環境整備事業】	総務課	市内小学校において、国が進めるGIGAスクール構想に係る1人1台PC端末の実現のため、遠隔授業で使用するwebカメラを購入する。	R2.12	R3.2	373	197	webカメラ:17校(18台)	新型コロナウイルス感染症等発生による臨時休校下等の学校においても児童の学びを保障するためのICT活用による遠隔学習環境の整備を図った。
42	公立学校情報機器整備費補助金【中学校教育環境整備事業】	総務課	市内中学校において、国が進めるGIGAスクール構想に係る1人2台PC端末の実現のため、遠隔授業で使用するwebカメラを購入する。	R2.12	R3.2	145	76	webカメラ:7校(7台)	新型コロナウイルス感染症等発生による臨時休校下等の学校においても生徒の学びを保障するためのICT活用による遠隔学習環境の整備を図った。